

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 理科

番号	発行者略称	教科書番号
観点	東書	<新しい理科> 307、407、507、607
取扱内容 各学年の学習指導要領の目標・内容及び各教科・内容等	<p>【物質・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験、日光で調理するソーラークッカーを作るものづくりなどの活動で構成されている（第3学年）。 ○ 試験管に閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験、電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動で構成されている（第4学年）。 ○ コーヒーシュガーや片栗粉を溶かした後の様子について調べる実験、電磁石の性質を利用した鉄の空き缶拾い機を作るものづくりなどの活動で構成されている（第5学年）。 ○ 集気びんの上や下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験、人感センサーを利用した電気自動車を作るものづくりなどの活動で構成されている（第6学年）。 <p>【生命・地球】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ピーマン、オクラ等を栽培し育ち方を調べる観察、日なたと日陰の地面の温度を放射温度計で調べる観察等の活動で構成されている（第3学年）。 ○ 物を持ち上げたときの体の様子を調べる観察、昼に見える月の位置の変化を調べる観察等の活動で構成されている（第4学年）。 ○ アサガオとヘチマの花のつくりを調べる観察、流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験等の活動で構成されている（第5学年）。 ○ 手首や足首、心臓の脈拍を調べる実験、ボールに光を当てて月の見え方を調べる実験等の活動で構成されている（第6学年）。 <p>【主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「じしゃくのせいしつ」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、紙、10円玉、鉄の缶等、どんな物が磁石につくかについて調べ、金属でも磁石につく物とつかない物があることについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第3学年）。 ○ 「電流のはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第4学年）。 ○ 「電流が生み出す力」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、電磁石を強くするためにはどうすればよいのかについて調べ、乾電池の数や導線の巻き数と電流との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第5学年）。 ○ 「てこのはたらきとしくみ」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、実験結果のデータを基にきまりについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第6学年）。 ○ 電気の学習でプログラミングの内容を取り扱う内容構成となっている（第6学年）。 ○ 各学年の重点を、第3学年では「問題をつかむ力」、第4学年では「予想する力」、第5学年では「計画する力」、第6学年では「考察する力」と示し、学習方法を説明することで、問題解決の力を発達段階に応じ、系統的に身に付けられるよう工夫がされている。 	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的・発展的に学習できるよう、第3学年では「太陽の光」において、光の性質についての学習の後に太陽熱発電に関する資料が、第4学年では「夏の星」において、明るさや色の違う星についての学習の後にすばる望遠鏡に関する資料が、第5学年では「流れる水のはたらき」において、流れる水の働きと土地の変化についての学習の後に上西郷川に関する資料が、第6学年では「変わり続ける大地」において、土地のつくりと変化についての学習の後に震源や震度に関する資料が工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3学年では総ページ数178で2%減、第4学年では総ページ数202で6%減、第5学年では総ページ数170で10%減、第6学年では総ページ数202で11%減となっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、棒を使って重い物を持ち上げるなどの学習内容に係る活動を位置付けたり（第6学年）、「理科の世界」において、働く人のインタビュー形式のコラムを掲載し、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習前後での自分の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、読み物資料で児童の興味・関心を広げる（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 「なんだパンダ先生」の台詞という形で、ものの見方や考え方を提示し、実験・観察を通じて、科学的な思考力を高めることができるよう配慮されている。 ○ 単元末に「理科の世界探検部」という資料が掲載され、日常生活や社会との関連を通して、学びを深められるよう配慮されている。また、学んだことをSDGsにつなげるページも巻末に設けられている。 ○ 二次元コードから、参考情報を端末で閲覧できるよう配慮されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 目次が裏表紙に掲載され、教科書を開かなくても、学習項目や掲載ページを探すことができるよう工夫されている。 ○ A4サイズを採用し、全体的に見やすい紙面構成となっている。 ○ 感染症対策について、手洗いマークを記載するとともに、実験・観察の前後に手洗いを促す記載がされている。また、「きけん」マークで安全指導の徹底がされている。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 理 科

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	大日本	<たのしい理科> 308、408、508、608
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等	<p>【物質・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 粘土やアルミニウムはくの形を変えて重さを調べる実験、ゴムと風で動く車を作るものづくりなどの活動で構成されている（第3学年）。○ 石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験、強弱スイッチ付き送風機を作るものづくりなどの活動で構成されている（第4学年）。○ コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験、電磁石の性質を利用した魚つりゲームを作るものづくりなどの活動で構成されている（第5学年）。○ 集気びんにふたがあるときとないときのろうそくの燃え方を調べる実験、モビールやさおばかりを作るものづくりなどの活動で構成されている（第6学年）。 <p>【生命・地球】</p> <ul style="list-style-type: none">○ ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察、日なたと日陰の地面の温度を放射温度計や温度計で調べる観察等の活動で構成されている（第3学年）。○ 体全体の筋肉の様子を調べる観察、半月や満月の位置の変化を調べる観察等の活動で構成されている（第4学年）。○ アサガオの花のつくりを調べる観察、流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験等の活動で構成されている（第5学年）。○ 胸、手首や首筋の脈拍を調べる実験、月の形の見え方が日によって変わる理由を調べる実験等の活動で構成されている（第6学年）。 <p>【主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「じしゃくのふしぎ」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、磁石に近付けた鉄は磁石になるのかについて調べ、予想と比較したり、鉄釘に砂鉄が付いた結果を基に磁石になったかどうかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第3学年）。○ 「雨水のゆくえ」において、問題を見だし、予想を基に観察計画を立てさせるとともに、水はどのような場所に流れていくのかについて調べ、水が流れ始める場所と水が溜まっている場所について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第4学年）。○ 「ふりこの性質」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、ふりこの1往復する時間は何によって変わるのかについて調べ、ふりこの長さ、おもりの重さ、振れ幅について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第5学年）。○ 「私たちの生活と電気」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、豆電球と発光ダイオードで使う電気の量にどのような違いがあるのかについて調べ、明かりがついていた時間について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第6学年）。○ 問題解決の過程が、「見つけよう 調べよう 伝えよう」で示され、学習の見通しをもちやすいよう工夫されている。学習サイクルを通して学びが深まる全体構成になっている。○ 「学んだことをいかそう」では、それまでの学習内容から考える問題があり、日常生活と関連づけながら、学びを深められるよう工夫されている。	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的・発展的に学習できるよう、第3学年では「太陽の光」において、光の性質についての学習の後に光の反射に関する資料が、第4学年では「冬の星」において、冬の星の位置の変化についての学習の後にはやぶさ2に関する資料が、第5学年では「天気の変化」において、天気と雲の様子学習の後に季節によって変わる天気の変化に関する資料が、第6学年では「水よう液の性質」において、酸性・中性・アルカリ性についての学習の後に中和に関する資料が工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3学年では総ページ数 205 で3%増、第4学年では総ページ数 229 で2%増、第5学年では総ページ数 197 で2%増、第6学年では総ページ数 233 で2%増となっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、徒競走をした後の様子などの日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年）、「りかのたまてばこ」において、科学技術との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を8段階で示し学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、できるようになったことなどの振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、Web コンテンツを利用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 巻末資料「記録と整理のしかた」では、実験のまとめ方が具体的に示されており、主体的に学びきっかけづくりになるよう配慮されている。 ○ 5学年と第6学年では、学習した内容と防災とをつなげ、防災や減災について考えることができるよう工夫されている。 ○ ICTの活用が考えられる活動では、写真やイラストを掲載し、協働的な学びが充実するよう工夫されている。また、SDGsにつながる資料は、マークとともに示されている。 ○ ページ下に二次元コードがあり、器具の使い方や資料を動画で確認できるように配慮されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 巻末に、理科室の使い方や観察・実験器具の基本操作が掲載されている。 ○ 紙面をA4サイズにして、写真や資料を見やすくしている。また、情報を省略せずに掲載している。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 理 科

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	学 図	<みんなと学ぶ 小学校 理科> 309、409、509、609
取扱内容 各学年の目標・内容等 学習指導要領の総則及び各教科・	<p>【物質・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験、磁石で動くパッキンへびを作るものづくりなどの活動で構成されている（第3学年）。 ○ 石けん水のまくの様子を基に試験管中の空気の体積の変化を調べる実験、乾電池で走る車を作るものづくりなどの活動で構成されている（第4学年）。 ○ コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験、電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動で構成されている（第5学年）。 ○ 底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験、風車を利用した風力発電機を作るものづくりなどの活動で構成されている（第6学年）。 <p>【生命・地球】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察、日なたと日陰の地面の温度を温度計で調べる観察等の活動で構成されている（第3学年）。 ○ 腕を曲げた時の筋肉の様子を調べる観察、朝の半月の位置の変化を調べる観察等の活動で構成されている（第4学年）。 ○ ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる観察、傾きを変えて流れる水の働きを調べる実験等の活動で構成されている（第5学年）。 ○ 手首やその他の脈拍を調べる観察、月の形が変わって見える理由を調べる観察等の活動で構成されている（第6学年）。 <p>【主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「明かりをつけよう」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、折り紙、ガラスのコップ、クリップ等で電気を通すものについて調べ、電気を通したものがどのようなものでできているかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第3学年）。 ○ 「雨水の流れ」において、問題を見だし、予想を基に観察計画を立てさせるとともに、水のみこみ方と土の粒の大きさの関係について調べ、粒が小さい土と大きい土を比べながら水のみこみ方について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第4学年）。 ○ 「雲と天気の変化」において、問題を見だし、予想を基に観察計画を立てさせるとともに、雲の動きと天気の変化にはどのような関係があるのかについて調べ、雲の動きと雨量の関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第5学年）。 ○ 「てこのしくみとはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、支点からの距離とおもりの重さの関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第6学年）。 ○ 問題解決の過程を「みつけよう 調べよう まとめよう」で示し、さらに細かい8つのステップで示されている。学習サイクルを通して学びが深まる全体構成になっている。 ○ 全学年において、観察する生物への配慮を記載し、生命尊重、自然環境保護の意識を育てられる工夫がされている。 ○ 全学年の「わたしの自由研究」では、様々な問題に関心を持ち、自ら行動する心を育めるような題材を取り扱っている。 	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的・発展的に学習できるよう、第3学年では「光を調べよう」において、光の性質についての学習の後に光の反射に関する資料が、第4学年では「ものの温まり方」において、熱の伝わり方についての学習の後に熱気球に関する資料が、第5学年では「冬から春へ」において、天気と雲の様子についての学習の後に日本海側と太平洋側の天気の違いに関する資料が、第6学年では「生物のくらしと環境」において、生物と環境についての学習の後に外来生物に関する資料が工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3学年では総ページ数 188 で3%増、第4学年では総ページ数 208 で1%増、第5学年では総ページ数 196 で1%増、第6学年では総ページ数 236 で3%増となっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、冷蔵庫を使用している様子等の日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年）、「もっとしりたい」において、暮らしや仕事との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程をチェックして学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習前後の変容を確かめるよう振り返りの視点を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、学習後の振り返りをできるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ SDGs等、現代の課題に対して、仕事やくらし、科学と関連させて興味をもたせるよう工夫されている。教科書の裏表紙、SDGsの主な目標に該当するページを示すなど、使用上の便宜が図られている。 ○ 学んだことを深める資料を中心に二次元コードが設定されている。また、デジタルコンテンツから解説動画を見ることができるよう工夫されている。 ○ つきたい力を「理科モンスター」というキャラクターで表現することで、楽しみながら学ぶ力を高められるよう配慮されている。また、単元の導入で、問題を解決したくなるような場面が設定されている。 ○ 最終ページに、調べ方や使い方、大事な言葉の索引があり、すぐに振り返りができるように使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 巻末には、記録の仕方や観察・実験器具の基本操作について記載されている。 ○ 観察・実験では安全や防災に対する意識が高まるよう配慮されている。また、先生や保護者に対して感染症対策に関する記載がある。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 理科

番 号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	教出	<未来をひらく 小学理科> 310、410、510、610
取扱内容 各学年の目標・内容等 学習指導要領の総則及び各教科・	<p>【物質・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験、風で動くほかけ車を作るものづくりなどの活動で構成されている（第3学年）。 ○ ペットボトルに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験、電気の働きで走るプロペラカーを作るものづくりなどの活動で構成されている（第4学年）。 ○ コーヒーシュガーを溶かした後の様子について調べる実験、電磁石の性質を利用した電池チェッカーを作るものづくりなどの活動で構成されている（第5学年）。 ○ 底のある集気びんと底のない集気びんの中のろうそくの燃え方を調べる実験、夜になると光るライトを作るものづくりなどの活動で構成されている（第6学年）。 <p>【生命・地球】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察、日なたと日陰の地面の温度を温度計や放射温度計で調べる観察等の活動で構成されている（第3学年）。 ○ 体を動かすときの筋肉の様子を調べる観察、午後に見える月の位置の変化を調べる観察等の活動で構成されている（第4学年）。 ○ ヘチマ、アサガオ、ツルレイシの花のつくりを調べる観察、流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験等の活動で構成されている（第5学年）。 ○ 心臓の動きと手首の脈拍を比べる活動、月が光る側に太陽がある理由を調べる観察等の活動で構成されている（第6学年）。 <p>【主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「電気の通り道」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、乾電池、豆電球、導線をどのようにつなぐと、明かりがつくのかについて調べ、明かりがついたときのつなぎ方とつかなかったときのつなぎ方について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第3学年）。 ○ 「電流のはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、乾電池2個のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさについて調べ、直列つなぎのときと並列つなぎのときの回路に流れる電流の大きさについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第4学年）。 ○ 「電流が生み出す力」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、回路に流す電流の向きを変えると、電磁石は、極が入れかわるのかについて調べ、電流の向きと電磁石の極との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第5学年）。 ○ 「電気の利用」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、手回し発電機や光電池を使って、電気をつくることができるのかについて調べ、電気をつくる方法について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第6学年）。 ○ 必要な問題解決の力を「〇年のチカラ」としてマークを付けている。また、問題を見出す力（第3学年）、根拠のある発想や仮説を発想する力（第4学年）、解決の方法を発想する力（第5学年）、より妥当な考えをつくり出す力（第6学年）として、「思考力・判断力・表現力」が身に付くよう配慮されている。 ○ 各単元で、子どもの「なぜ」を大切にし、主体的に問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。また、単元の導入で学習のつながりが具体的に示されており、振り返りができるよう構成されている。 ○ 考え方のカギを示しながら、対話を通して、問題を見出す場面を示している。見方のカギ、考え方のカギとして、見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的・発展的に学習できるよう、第3学年では「音」において、音の性質についての学習の後に超音波に関する資料が、第4学年では「水のゆくえ」において、雨水の行方と地面のようすについての学習の後に自然の中の水の循環に関する資料が、第5学年では「もののとけ方」において、物の溶け方についての学習の後に海水のろ過に関する資料が、第6学年では「人の生活と自然環境」において、生物と環境についての学習の後にミドリムシに関する資料が工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3学年では総ページ数 193 で6%増、第4学年では総ページ数 233 で5%減、第5学年では総ページ数 209 で9%減、第6学年では総ページ数 225 で6%減となっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、洗剤や虫刺されの薬の成分等の日常生活と関連付けた写真を掲載したり（第6学年）、「科学のまど」において、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 問題解決の過程を線をつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習前後の成長を実感できるよう振り返りを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、動画で情報を補足する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 巻頭に「ノートのとおり方」があり、学習の流れを理解しやすくするとともに、論理的思考を高めることができるように配慮されている。また、巻末に「算数とのつながり」があり、教科を横断したつながりを把握できるよう配慮されている。 ○ 単元末の「たしかめよう」で用語などを確認する穴埋め問題や選択問題、考えを書く記述式問題があり、多様な力を伸ばすよう配慮されている。 ○ 観察や実験の方法が1ページにまとめられており、観察や実験の流れを確認しやすいよう配慮されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 各学年の裏表紙に「学びのリンク」の二次元コードがあり、学習したデジタル資料をすべて見ることができる。 ○ 各学年で学んだことがまとめられ、学びの振り返りができるようになっている。「大事な言葉」「使い方・調べ方」「SDGs との関わり」「動画」「ウェブずかん」など、索引が整理されている。

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 理 科

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	啓林館	<わくわく理科> 312、412、512、612
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等	<p>【物質・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 粘土や画用紙の形を変えて重さを調べる実験、クモのす糸電話を作るものづくりなどの活動で構成されている（第3学年）。○ 丸底フラスコに閉じ込めた空気を暖めたり冷やしたりして体積の変化を調べる実験、ひとりで回る風車を作るものづくりなどの活動で構成されている（第4学年）。○ コーヒーシュガーが溶けていく様子について調べる実験、電磁石の性質を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動で構成されている（第5学年）。○ 集気びんの上や下に隙間があるときのろうそくの燃え方を調べる実験、でんぷんやさおばかりを作るものづくりなどの活動で構成されている（第6学年）。 <p>【生命・地球】</p> <ul style="list-style-type: none">○ ホウセンカやヒマワリを栽培し育ち方を調べる観察、日なたと日陰の地面の温度を放射温度計や温度計で調べる観察等の活動で構成されている（第3学年）。○ 体を動かすときの筋肉の様子を調べる観察、昼に見える半月の位置の変化を調べる観察等の活動で構成されている（第4学年）。○ ヘチマ、オモチャカボチャ、アサガオの花のつくりを調べる観察、曲がって流れる水の外側と内側の様子を調べる実験等の活動で構成されている（第5学年）。○ 胸、手首や首の脈拍を調べる活動、月の形が変わって見えるのは月と太陽の位置と関係あるのかを調べる実験等の活動で構成されている（第6学年）。 <p>【主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「風とゴムの力のはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、ゴムを伸ばす長さを変えると物を動かすはたらきは変わるのかについて調べ、ゴムを伸ばす長さや車が動く距離について話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第3学年）。○ 「電気のはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、乾電池の数やつなぎ方と電流の大きさの関係について調べ、モーターの回る速さは電流の大きさに関係していることについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第4学年）。○ 「電流と電磁石」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、電磁石にはどのような性質があるのかについて調べ、電磁石は極が入れ替わるなど、棒磁石との性質の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第5学年）。○ 「てこのはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこを利用した道具はどのような仕組みになっているのかについて調べ、作用点で働く力の大きさについて話し合い、考えを広げたり深めたりする工夫がされている（第6学年）。○ 全学年の巻頭で理科の楽しみ方として、問題解決の過程が「見つける 調べる まとめる」で示され、学びのサイクルを通して学習が深まる全体構成となっている。○ 問題解決までのステップ「問題・予想・実験や観察・結果・考察・まとめ」が分かりやすく示され、学習の見通しがもちやすい構成になっている。○ 理科の見方・考え方を働かせられるよう、吹き出しの中に「見方・考え方マーカー」が引かれている。また、全学年の巻末で見方・考え方について丁寧に解説がなされ、見方・考え方が生活に役立つ場面をマンガで具体的に示している。	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的・発展的に学習できるよう、第3学年では「光のせいしつ」において、光の性質についての学習の後に日光の進み方に関する資料が、第4学年では「もののあたたまり方」において、熱の伝わり方についての学習の後に熱伝導に関する資料が、第5学年では「雲と天気の変化」において、天気と雲の様子についての学習の後に季節によって変わる天気の変化に関する資料が、第6学年「生物どうしのつながり」において、生物と環境についての学習の後に外来生物に関する資料が工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3学年では総ページ数 190 で3%増、第4学年では総ページ数 202 で1%減、第5学年では総ページ数 194 で2%減、第6学年では総ページ数 218 で4%減となっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、ろうそくが燃えている様子の観察等、児童の豊かな表情の写真を掲載したり（第6学年）、「くらしとリンク」において、身近な生活との関連を取り上げ、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされており、大変よくできている。 ○ 問題解決の過程を線でつなぎ学習の流れに見通しをもたせたり（全学年）、単元末において、学習の振り返りとして新しく学習した言葉を掲載したり（全学年）するなど、児童の主体的な学びに適している。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、二次元コードを掲載し、補充問題を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 全学年の巻頭でICT活用について、活用例やイラストデータ集が取り上げられている。また、単元内でもICTを活用するフォローがされている。 ○ SDGs や Society5.0 時代に対応した内容となっている。二次元コードの横にSDGs マークが示されている。 ○ 正しく、安全に観察や実験ができるよう丁寧に扱われているだけでなく、動画でも確認できるように配慮されている。 ○ 各単元のまとめでは新しく学習した言葉として、理科の用語を確認できるように配慮されている。また、たしかめてみようでは、スマート解説として二次元コードから解説動画を見ることが出来る。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○ 「withEarth」で、防災・減災や持続可能な社会について考えるような内容構成となっている。 ○ 他教科やSTEAMとの関連がマークで示されている。 ○ 各単元末で「くらしとリンク」が設定され、学習したことと日常生活との関連づけがされている。